

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1082 健康教育事業(負担金分)	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費
		細目	240	保健事業
行革大綱の重点事項番号		1・5	細々目	51 健康教育事業(負担金分)
担当部課	コード	703000	担当者 氏名	眞井 雅子
	名称	大山田支所住民福祉課		
		連絡先	47 - 1151 (内線) 210	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	40歳以上の市民	※対象件数
成果(どうする)	健康に関する正しい知識を身につけるとともに、生活習慣を改善することにより、生活習慣病をはじめとする疾病予防につながる。	
根拠法令・要綱等	健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	①出前講座の開催 各地区老人クラブ等からの希望により地区公民館等で実施した。 ②ライトピア健康相談時に健康についての講話を行った。	
社会情勢 の変化等	H20年度より基本健康診査に代わり各保険者が実施する特定健診が実施となり健診後の要指導者については特定保健指導として実施している。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
出前講座の開催	目標	回	30	30	20	30
	実績	回	31	33		
	目標	回				
	実績	回				

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値		
				H20	H21	H22	H23	
出前講座参加者延人数		参加者延人数を指標としました。	人	目標	400	400	100	100
				実績	342	167		
			人	目標				
			人	実績				

投入 コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	22	10	17	17
A の 財 源 内 訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	0	0	
一般財源	22	10	17	17
事業投入人件費(B)	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720
フルコスト(A)+(B)	742	730	737	737

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人(の)力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	健康に関する市民ニーズを把握し、実施内容の検討を行い参加者の拡大を図る。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 事業の見直しにより、H20年度から遊々くらぶを実施せず、各地区の老人クラブやいきいきサロンの希望により、計画通り実施している。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中村 崇
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 生活習慣病予防のための日常生活上の心得、食生活のあり方、健康増進の方法、かかりやすい病気とその予防などについて、市民と膝を突き合わせて話し合う講座であるのでこれからも必要である。
現時点における 課題、その他	課題はなし
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	